

監査・ガバナンス研究部会（第206回）議事録

日時：平成27年1月16日（金）15:00～17:00

場所：学士会館310号会議室

出席者：今井、大関、岡本、河口、勝田、嶋多、高橋、永井、中嶋、林、日向、山本、
山脇、井上（文責）

【報告事項】

今井部会長より、研究交流例会で説明したコーポレートガバナンス・コードへのパブリックコメントを、当学会高橋会長の確認を経て提出したことが報告された。

【定例研究発表】

1 分野別監査概念について—会計、ITG、環境、情報セキュリティ等（河口洋徳部会員）
＜概要説明＞

- テーマ選択の背景として、現場感覚からのやらされ感や複層感等の素朴な疑問の中で統合的な監査の可能性への関心が起点となった。
- 監査の概念について、その意味、歴史について言及
- 対象組織（一般企業、官公庁、共同組合等、NGO・NPO等）における監査の現状確認、監査の種別等を列記
- 監査の手法と実施の概要（依頼元、目的、要点・対象、基準・根拠、手続・範囲、報告書、経営戦略との関係）について所謂三様監査についてと、マネジメント監査について分析
- 内部監査は組織全体の監査であり、マネジメント監査やITガバナンス監査はその仕組み全体が監査対象であり、内部監査の監査領域ではないとの主張があるが、現在は三様監査の連携も重要とされ、とりわけ内部監査の目的とすることは経営戦略との整合性監査との要素も強いゆえ、統合化についての矛盾はないと思量する。
- これらを踏まえて監査の統合可能性についてこれを実現すべきとの主張を展開。

＜討議・意見＞

- 監査経験者としては、発表者の言う統合なるものは困難と考える。理由はそれぞれの領域が専門化（システム監査などが例）しており全体監査にはなじまないと考える。
- 日常的チェックという事と非日常的チェックという事を勘案すると報告者の結論は困難と思われる。
- 内部監査は日本では社長に直属しているが、欧米では異なる。現状（内部監査が社長の指揮下にあること）に対する疑問を呈すべきではないか。
- 社長への報告ではなく取締役会に対する報告義務とすべきとの案もある。
- 内部監査メンバーの人事権が社長に属する限りにおいて実質的に困難ではないか。
- 監督、監査、審査、検査等の定義を明確にすると理解しやすくなる。
- 倫理監査の観点をきちんととらえるべき。貴井陵雄氏の「企業経営と倫理監査」を参照したらよい。

2 現代企業人の基層的規範意識と儒教（嶋多明夫部会員）

<概要説明>

- 戦後、道徳教育や宗教倫理の訓練がほとんどなされないにもかかわらず、日本企業の根底に高い倫理規範が機能しているとすれば、それはどのようなものかというのが問題意識である。私は儒教、武士道、商人道などの伝統的規範意識がそれではないかと考えており、今回儒教について主に加地伸行の研究に依拠して考察してみた。
- 孔子の『論語』は、1500年以上にわたって日本人に深く親しまれ、日本人の規範意識を形成してきた古典の一つである。今日においても、その人間性、道徳性、実践性にひかれて学ぶ人が多い。
- 今日の企業人においても、その基層的規範意識の中には『論語』に由来するものがあるであろうことは、容易に想像できる。そこで渋沢栄一の『論語と算盤』を中心に、そのほか現代の一般読者向けに書かれた図書におさめられている章句について、筆者なりに今日の企業人にも抵抗なく受け入れられていると思われる主なもの30章句を選び出し、分類してみた。
 - ・ 不義にして富み且つ貴きは、我に於いては浮雲の如し
 - ・ 士は以て弘毅ならざる可からず。任重くして道遠ければなり。仁以て己が任と為す。亦重からずや。死して後已む。亦遠からずや。
 - ・ 己の欲せざる所は、人に施す勿れ。
 - ・ 君子は言に訥にして行いに敏ならんことを欲す。
 - ・ 君子は諸を己に求め、小人は諸を人に求む。
 - ・ 巧言令色、鮮なし仁。
 - ・ 後世畏るべし。いづくんぞ来者の今にしかざるを知らんや。．．．．．
- こうした孔子の「論語」に書かれている章句は、我々の意識の中に脈々と生き残っているのではないか。

<討議・意見>

- どういう問題意識でこの問題を取り上げ、どう結論付けるのかが分かりにくい。先行研究もあるから更に研究を深め、論語がどのように企業行動に反映されているかを示したらよい。
- 孔子の章句は今も昔も人にとって実現しにくい永遠の課題が書いてある。それゆえに理想の姿に少しでも近づこうと昔から人は努力しているのかもしれない。
- そういう孔子の理想像を会社の理念として掲げ、長寿企業として成功しているところがあるのではないか。
- 米国流のMBAスタイルの経営ではなく、「論語と算盤」のような心に響く経営が今求められているのではないか。
- 日本の義理・人情・恥は儒教とどう結びつくのだろうか？
- 儒教ではなく、むしろ武士道ではないか。
- 論語の章句が今の企業の経営理念にどう反映されているかを調べることは研究価値がある。しかし、最近の合併企業などでは、画一化された文言の経営理念が流行していて、ほとんど参考にならない。

【次回開催日】2月20日（金）午後3時 学士会館309号会議室